

○2番 古賀愛唯君

行橋小学校6年、古賀愛唯です。私は公園について質問します。

私は、学校の近くの三角公園、ふれあい公園、噴水公園、そしてあお公園でよく遊んでいます。でも、遊んでいる時にいくつか困ったことがあります。

三角公園のブランコは、ギーギーと音がして古くなっているみたいです。噴水公園のトンネルの滑り台の口が割れていて危ないと思っています。また、ふれあい公園とあお公園では屋根がないので、夏場は本当に暑くて休憩する場所がありません。

きょうは、行橋市の公園をもっと安全で快適にするために、工藤市長にいくつかお聞きしたいと思います。

1つ目は、遊具の更新についてです。三角公園のブランコや噴水公園の滑り台のように、古くなって危ない遊具があります。行橋市は、こうした古い遊具を新しくするために、今後どのような取り組みを行う予定ですか。

○後半議長 荒木優丞君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

古賀議員のご質問にお答えします。

まずですね、いま現在、どういったことを行っているかというところを申し上げたいと思います。

1点目としまして、遊具の更新、新しくしていったりすることですけれども、これは毎年、実は全ての遊具について、専門業者による安全点検といったものを行っております。この点検では、遊具が壊れていないか、危ない部分がないか、それから錆びていないか、などを細かくチェックをしております。

点検の結果、危険な遊具については、使用禁止にしたり、修理をしたり、それから新しい遊具に替えたりなどしています。

今後も古くなった遊具については、公園の利用状況や地元の要望に基づいて、例えば、今まで滑り台があったけれども、子どもたちがこの地域にはいなくなって、滑り台を使う人たちも、もういないんだ、だから滑り台を取ってほしいというようなご要望をいただくこともあったりするんですね。そういった地元のご要望に基づいて、予算の範囲内になりますけれども、できるだけ多くの遊具の更新をするように努めてまいりたいと、そのように思っております。ひとまず、以上でございます。

○後半議長 荒木優丞君

古賀議員。

○2番 古賀愛唯君

どのような取り組みをしているか分かりました。

2つ目は、日陰づくりについてです。ふれあい公園とあお公園には、屋根の休憩場所がなく、夏場は本当に暑くて休憩できません。行橋市では日陰づくりについて、今後どのように考えていますか。

○後半議長 荒木優丞君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えします。この日陰づくり、きょうもいくつか出てまいりましたが、とても重要ですね。1つは暑さ対策、また紫外線対策といったものも考えなければいけないのかなというふうに思っております。

本当に暑い時、あるいは大雨の時なんかもそうですけども、要は外遊びができない時というのは、小学生までに関しては、例えば、あそぼっちゃを使っていたく、あるいは公民館などを使っていたくことも可能ですし、今後ですね、中学校なんかは部活動で体育館を使ったりしますけれども、例えばちょっと地域でイベントをしようとか、子どもたち、皆さん方の世代のイベントをしようとか、そういった時はエアコンが体育館に整備されれば、学校の体育館も条件が整えば使っていたくことも可能になるのかな、というふうに思います。

この公園の日陰については、もう議員おっしゃるように絶対に必要ですね。例えば公園によってはベンチと、ちょっとその上に屋根が付いているようなものがありますよね。

でもあれ、午前中だったり、それから夕方になってくると、影が遠くのほうにいつちゃって、屋根がもう全く影をつくってくれないようなものがたくさんあります。あるいは木々があってもその木々が影の役割を果たしていないぐらいに小さかったり、葉っぱが少なかったりと、あります。

ただ今度、影をたくさんつくるために木をたくさん植えると、今度は管理、要は葉っぱがたくさん季節によっては落ちて、それをじゃあ誰が掃除をするんだ、掃除するのにもお金がかかるぞ、といったような問題が起こってきたりするんです。非常に悩ましいところも実際にございます。

ただ、やはりこれからすべての公園、いきなりぼんとやることはできませんけれども、長浜公園という北校区にある公園なんかは、ちょっとゆっくり休んでいただけるように、大きな日陰がある休憩所を準備させていただきました。そんなかたちで、休憩所あるいは公園の全体とはいかないまでも、遊具ごと覆うとかですね。そういったような日陰づくりといったものは、我々としてもいま現在協議をしているところです。じゃないと遊具も熱くなって遊具に触ることもできなかつたりしますからね。

それと同時に、もう1個はやっぱり水をいかに上手に使うかというところです。きょうはミストというお話もございましたけれども、遊びの中で例えば泥んこになって遊ぶときに水を流しながら、要は川をつくって遊んだりだとか、あるいは水が結構飛んでくるようなスプリンクラーを付けたらだとか、そうやって体を冷やすということも必要だと思うんですね。

ですから、その日陰だったり、水を効果的に使う、水を上手に使う、そういったことを織り交ぜていきながら、外遊び、できるだけ暑さに悩まされることなく、外遊びができる環境を考えてまいりたいと思います。以上です。

○後半議長 荒木優丞君

古賀議員。

○2番 古賀愛唯君

ご答弁、ありがとうございます。

それでは、今後、公園をより良くするために、利用する子どもたちの意見を聞く機会を設ける予定があるか、市長の考えをお願いします。

○後半議長 荒木優丞君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えします。本当に公園に限らず、皆さん方のご意見は貴重だと思います。先ほどから申し上げておりますように、こういった子ども議会だけではなくて、例えば市長まちかどトークといった枠組みを使っていただいて、私を呼んでいただければ、例えばテーマを決めて公園について話す、でもいいですし、それ以外のことも含めてお話することもできます。

あとですね、実は、私が市長になってから令和6年度にワークショップというものを開きました。公園ワークショップ、これは何か、どういったことをしたかという、いつも行きたくなる公園、みんなでつくる推しの公園、こういったものをテーマとして、実は市報などを通じて声掛けをさせていただいたんです、令和6年ですね。

その際に、小学校1年生から70代の方々まで非常に幅広い世代の皆さん方が参加をしてくださいました。その中で、お子さんから、議員と同じような年齢の方からご高齢の方々まで、それこそ日陰が欲しいとか、あるいはバスケットボールができるような、そういった公園が欲しいとか、いろいろな意見を頂戴しました。ですから、そういったご意見をもとにして今後公園づくりをしていきたいと、基本的にはそのように思っております。

ただ一方で、今ここにいらっしゃる議員の皆さん方や、小学生、中学生の皆さん方に

も、ちょっと自分たちの声も聞いてほしいと、そういったお声もあろうかと思しますので、それは先ほど申し上げたようなかたちで、それこそ市長室に、子ども議員の何々です、ということで連絡いただいても構いません。ぜひともご意見をいただければと、一緒につくっていただければと、そのように思います。以上です。

○後半議長 荒木優丞君  
古賀議員。

○2番 古賀愛唯君  
市長の意見のように、自分ができることは少しずつやっていきたいと思います。  
以上で質問を終わります。ありがとうございました。